

消防飯館分署からの お知らせ

秋の火災予防運動

村・財産を守りましょう

全国一斉に平成28年秋の火災予防運動が実施されます。空気が乾燥し、火災が発生しやすい季節を迎えるにあたり、一人ひとりが火災予防に対する意識を高め、悲惨な焼死事故や大切な財産の損失を防ぎましょう。

また、放火されにくい、「火災に強い街づくり」のために、毎年、11月9日から15日までの7日間を「秋の全国火災予防運動の期間」と定めています。本年度は「消しましょう その火その時 その場所」を標語に、火災への注意を呼びかけています。村民の皆さんのご協力をお願いいたします。

消防飯館分署
☎0244(42)0119



火災予防運動行事計画

11月9日(水) 消防訓練(蔵平減容化施設) 危険物運搬車両査察

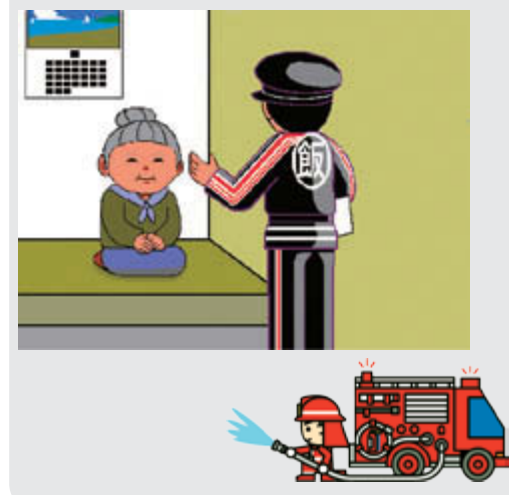
11日(金) 救命講習会(仮設住宅)

12日(土) 仮設住宅の防火訪問

平成28年 秋季全国火災予防運動

11月9日(水)～15日(火)

期間中は、長期宿泊者及び一時帰宅者の防火訪問・村内防火広報を行います。



家庭ゴミの焼却等は 禁止されています

家庭ゴミなどの屋外での焼却や廃棄物の野焼きは原則禁止されています。違反すると懲役3年以下又は300万円以下の罰金又は伴科に処せられます。

また、村内でのたき火・野焼きなどの行為は、草や土中に付着した放射性物質を空气中に巻き上げてしまう可能性があります。村内では、たき火・野焼きなどは絶対に行わないでください。

消防飯館分署
☎0244(42)0119

心も、自分も大切に。～ 教えてくんちえ 堀先生 ～

村民の皆さんからの相談に、精神科医の堀有伸先生がお答えします。

相談：最近、寝つきが悪くて困っています。専門医を受診した方が良いのでしょうか。

堀先生：心配のない不眠は、日中に気持ちが高ぶるような経験をし、寝つきが悪くなるというものです。この場合は、すぐにまた眠られるようになります。一方、「うつ病の症状としての不眠」は、早めに心療内科や精神科を受診して、適切な治療を開始することが大切です。寝つきが悪いこともありますが、眠りが浅く途切れやすくなります。朝早くから目が覚めてしまい、せっかく眠れたのに朝から疲れが取れずにぐったりとしている、何だかぼーっとして頭が動かないという睡眠が続いたら、要注意です。不眠に加え、体調の悪さ・だるさや理由もなく気持ちが落ち込むことが続いたら、ぜひ、専門医を受診してください。

心の健康相談についてのお問い合わせは、健康福祉課健康係(いちばん館内) ☎0244-42-1638まで

精神科医 堀 有伸 先生



胸に生きる思い出 いつも村を思わん
までいの心めぐりて 私たちの故郷

飯館中生が作詞家 伊武トーマさんと考えて作った「ふるさと」4番歌詞



▲昼食には、生徒の手作り味噌を使った豚汁とおにぎりが振る舞われました

中学校文化祭

10月16日、飯館中学校仮設校舎で文化祭「赤蜻祭」が行われ、村について学び、村の未来を考える「ふるさと学習」や、特設部などによる発表がありました。

この日は、震災後から取り組んでいる田植え踊りの発表からスタート。全校生徒と一緒に踊るのは初めてです。体育館が熱気に包まれました。また、生徒が村を想い作った唱歌「ふるさと」の4番歌詞も披露されました。来場者は、生徒が真剣に取り組み姿勢に熱い視線を注いでいました。



▲特設和太鼓部が堂々と演奏



▲全校生徒による田植え踊りを披露



▲生徒のきれいな歌声が響きました